

流しの公務員？

～自治体職員の新たな働き方への提案～

2017年度東海自治体学会研究会

これからの自治体職員の働き方を考えてみませんか？

自治体職員の場合、組織内での異動は頻繁にあります。しかし、組織の枠を超え、自分の所属する自治体で身に着けた専門知識、スキルを活かして、自治体間を渡り歩くような「流しの公務員」ということがあってもいいのではないのでしょうか？

今回は、その「流しの公務員」を実践しておられる山田朝夫さんによる基調講演の後、昇秀樹名城大学教授(東海自治体学会顧問)のコーディネートにより、参加者で意見交換します。是非、ご参加ください。

日時

7月1日(土) 13:30～16:30 参加費500円
交流会 17:00～ 参加費 4千円程度
当日会場にていただきます。

会場

名城大学名古屋ドーム前キャンパス南館202

所在地：名古屋市東区矢田南 4-102-9

地下鉄名城線ナゴヤドーム前矢田駅下車

地図→<http://www.meijo-u.ac.jp/about/access/>

申込

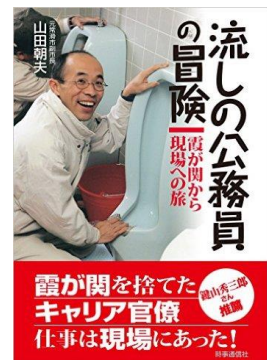
NPO法人 ボランタリーネイバース

メール：vns@vns.or.jp 電話：052-979-6446

①お名前 ②ご所属 ③連絡先をご記入のうえ「東海自治体学会研究会参加申込」と明記してお申し込みください。

講師プロフィール 山田 朝夫 さん

常滑市副市長。東京大学法学部卒業後、自治省入省。鹿児島県庁、衆議院法制局、自治省選挙課、大分県公害規制課長、同財政課長、自治大学校教授を経て、97年大分県久住町勤務。キャリア官僚として初めて町の一般職に。以後、「流しの公務員」を自称。大分県臼杵市地域再生プロデューサー、愛知県安城市副市長を経て2010年、同県常滑市参事。12年、同市副市長。苦境に陥っていた常滑市民病院を新築、再生させる。病院理事を務めた後、再度副市長に就任。



◆主催 東海自治体学会 後援 自治体学会